

夢に向かって
大人の誓い

～平成 25 年竹原市成人式～



「社会人の一員となり、苦しいこともあるけれど、夢を持って一歩一歩、歩み続けてください。」といった温かい言葉に溢れたメッセージビデオには、多くの新成人が感激した様子でスクリーンを見つめていました。

竹原中学校出身の藤野

と力強く宣誓しました。式典後には、昨秋から実行委員会が準備してきたアトラクションが行われました。思いつきの写真の数々がスクリーンに映し出されると、会場から歓声が沸き起こりました。また、懐かしの恩師からの、

1月12日、市民館で、成人式が開催され、327人の新たな門出を祝いました。今年も、新成人による実行委員会が、式の運営・企画を務めました。新成人を代表して誓いの言葉を述べたのは、村上和也さんと大木美波さん。

「どんな困難も乗り越える決意と、ふるさと竹原の誇りを胸に、子ども達の模範となるよう生活していきます。」

「両親から学んだ思いやりと精神力、感謝の気持ちを忘れず、世界で活躍できる大人になりたい。」と、堂々と決意を語りました。人生で、一度きりの成人式。新成人のみなさんの胸に、忘れられない思い出として刻まれたのではないのでしょうか。

綾乃さんは、「ボランティアや手話など、自分のやりたいことを頑張って、夢を実現させたい。」と、今後の目標を話してくれました。また、実行委員長を務めた三宅辰慶さんは、



竹原っこ夢プロジェクト

～地域で守り、新たにつくる

ふるさとの歴史～



1月12日、東野小学校で、「ふれあい創作大会」が開催され、1～4年生までの発表の後、5、6年生がふるさと納税を活用した「竹原っこ夢プロジェクト」の成果を披露しました。

5年生は、東野町の立体模型を作りました。一昨年、城山に登り、頂上から見た景色を元に、田んぼや畑、山や川の形を再現。神社や古墳などの位置も示しました。

「東野の自慢は、おいしい野菜と優しい地域の人」、「古い歴史を守り、僕達が新しい歴史を作っていく」という児童の言葉に、保護者や地域のみなさんは、嬉しそうな

表情を浮かべていました。また、6年生は、まちの歴史を、オリジナルのラップソングで表現しました。町内を散策したり、地域の人の話を聞いたりして学んだ、地域の歴史を歌詞にして、太鼓でアップテンポのリズムを刻みました。

会場の手拍子に合わせてリズムをとりながら、大きな声で歌っていたのは、前川奈々美さん。

「地域の人と交流ができて良かったです。」と、感想を話してくれました。世代を越えて、地域の人とふれあうことができた今回の夢プロジェクト。ふるさとの良さを、地域全体で再発見することができたのではないかと思います。

共に学ぼう 人権の大切さ

12月8日と9日、人権センターを中心に、人権フェスティバルが開催されました。人権に関するパネル・作品展示のほか、ヴォーカル“夢”コンサートなどが行われ、お互いを思いやり、認め合うことの大切さを学びました。



びっくり！化学の不思議を体験

12月20日、忠海東小学校と大乘小学校で、広島ガス(株)によるサイエンスショーが行われました。児童達は、金属の粉を燃焼させて色の変化を見る炎色反応の実験や、液体窒素を使った化学実験を体験。不思議な現象の数々に、興味津々の様子でした。



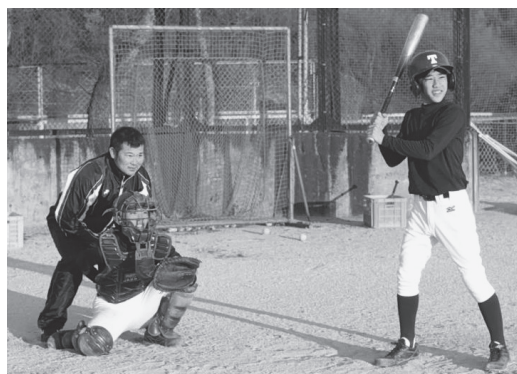
今年も市民の安全・安心を守ります

1月13日、バンブー公園で、消防出初式が開催され、消防活動に貢献した団員への表彰や行進などが行われました。災害現場を想定した公開訓練では、真剣な表情で訓練を見守る姿が多く見られ、式のフィナーレを飾る一斉放水には、盛大な拍手が送られました。



地域のいいもの 食べて 見て 体験して

1月27日、吉名小学校で「吉名よがんすのお〜祭り」が開催されました。会場は、牡蠣やじゃがいもなどの特産品を食べる人、ステージイベントや展示物を見る人、乗馬体験をする人などでにぎわいました。楽しそうなみなさんの笑顔が印象的でした。



心にしみた！プロ野球審判の声

1月11日、竹原市出身でパ・リーグ審判員の山路哲生さんが、忠海中学校を訪問し、野球部の生徒達と一緒にランニングやキャッチボールなどを楽しみました。山路さんは、「夢に向かって諦めず、頑張っ葉えてほしい。」と、生徒達に夢を持つことの大切さを伝えました。

生徒達は、プロの審判員と関わることができ、思わずにっこり。「すごい仕事だと思った」、「ストライクの時の山路さんの声が心にしみた」といった感想が聞かれました。



振り込め詐欺防止 劇で意識向上

1月27日、荘野公民館で、劇団「座SHOUNO」のみなさんが、振り込め詐欺防止をテーマとした「水戸黄門」の芝居公演を行いました。この水戸黄門劇は、昨年7月にポイ捨て禁止をテーマに旗揚げ公演を行ってから2回目の公演で、荘野協働のまちづくりネットワークのひとづくり交流部会が企画しました。

会場には約100人が来場し、ユーモアや地域の特色を交えた劇に、拍手や笑い声が巻き起こりました。最後は、水戸黄門の替え歌で「振り込め詐欺にだまされない」と会場全員で歌い、地域で心をつなげて振り込め詐欺防止への意識を向上させました。